—Public Information：KUMANO—
'21/11月号 No.569
発行／熊野町　編集／総務部政策企画課（11月1日発行）

今月の題字

熊野第一小学校6年　世羅　依純　さん

くまの

▼熊野第一小学校2年　上本　悠翔　さん

【評】「島ひきおに」のお話を読んで、心に残った場面を絵に表しました。人間と友達になりたいおにが、島を綱で結び、一生懸命人間の住む島まで引っ張って海を渡っている様子が生き生きと描かれています。見た目は怖そうなおにですが、人間と仲良くしたいだけの本当に心やさしいおにです。おにに打ち付ける波も丁寧に描かれています。

▼熊野第一小学校4年　勝部　夢望　さん

【評】横画と払いのバランスが上手に書けています。始筆、終筆がとてもきれいで整った作品に仕上がっています。

熊野の自然（386）

オオカマキリ
（カマキリ科）

成虫は8月～11月に見られ、緑色と褐色のものがいます。

秋、雌は頭を下にして粘液の泡を出し、その中に産卵します。卵嚢（らんのう）は完成すると釣り鐘型です。白い卵嚢は固まり淡褐色になります。

卵嚢の中で卵で越冬します。体長3～4㎜の甲虫カマキリタマゴカツオブシムシが卵嚢に多数産卵し、孵（ふ）化した幼虫が卵嚢の中を食べてしまうことがあります。

無事に冬を越すと、春、一つの卵嚢から小さな幼虫が一斉に100匹以上も出てきます。幼虫は脱皮を繰（く）り返（かえ）して成虫になります。蛹（さなぎ）の時期がない不完全変態です。

成虫は体長70～95㎜。顔は逆三角形で、角に大きな複眼（ふくがん）があります。複眼は小さな目がたくさん集まっていて視野がとても広く、獲物を見つけるのに優れています。複眼は昼はうすい緑色で夜は黒くなります。後ばねに目立つ黒褐色の紋があります。細長い中脚と後脚で歩き、鎌のような大きな前脚で獲物を捕らえます。

町内で他に3種のカマキリを見ています。よく似たチョウセンカマキリは後ばねに目立つ斑紋がありません。前ばねに白い紋があるハラビロカマキリ。小型で普通褐色、前脚の内側に黒い紋のあるコカマキリです。

カマキリ類の成虫には、針金状のハリガネムシが寄生していることがあります。

【写真・文】
緑花文化士　冨沢由美子

筆の駅ミニギャラリー

●片山幹雄・たいこ　缶アート二人展

時 11月4日㈭～16日㈫

安芸区矢野町在住の片山さん御夫妻の缶アート展。アルミ缶は捨てればゴミですが、そのアルミ缶を使いアート作品を作成。心にしみるほのぼのとした作品を展示します。

缶アート展

熊野町観光案内所「筆の駅」
熊野町出来庭10・6・24
問 855・1123（いいふみ）
開 10時～16時
（各展示の最終日は15時閉場）
休 水曜日・第3日曜日
¥ 無料
※ギャラリーのご利用については、お問い合せください。

〒731-4292
広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号
☎（082）820-5634（直通）
広報くまのは1部22円で印刷しています。
HP https://www.town.kumano.hiroshima.jp
Email:joho@town.kumano.hiroshima.jp

熊野町公式アカウント Instagram LINE
子育て支援情報アカウントこふでりん LINE
防災無線放送再生ダイヤル 082-820-5640（放送終了後24時間で自動消去）
切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。